

定期健診はお済みですか？

秋は、企業の定期健康診断や町ぐるみ健診も多く行われる季節です。定期健康診断は、主に日本人の死因と関わりが大きいと考えられる疾患をターゲットにしています。健康診断とこれらの疾患の関わりはどうなっているのでしょうか？

1) 動脈硬化によって起こってくる心筋梗塞や脳卒中

高血圧や高脂血症、糖尿病(境界型を含む)は動脈硬化の危険因子です。軽微な異常でも、長年続くとやはり動脈硬化は進展していきますので、塩分制限、腹八分目に適度な運動で改善しなければ、お薬が必要です。

もちろん、心筋梗塞や脳卒中は死亡原因になるだけでなく、寝たきりの大きな原因です。より厳密に管理する事がよりよい結果を招く事も証明されています。数値の判定は個々人の年齢や家族歴、喫煙状況などによってもかわってきます。難しい部分もありますので、主治医に健診結果をお見せになって、判断をあおいで下さい。

2) がん

今や日本人の死因のトップです。早期発見のために用意された健診はこのようなものです。

胸部レントゲン写真：肺癌

胃透視(バリウム)：胃癌

便潜血：大腸癌，直腸癌

尿潜血：膀胱癌や腎癌

貧血検査がきっかけで胃癌や大腸癌が見つかる事もあります。

これ以外にも乳がん検診や子宮ガン検診などもありますね。

これ以外にも、健診で様々な病気が見つかってきます。「病院にかかっているから安心」ではありません。病院での診療は症状や疾患に応じた診察，検査，治療を行う事となっていますので，自覚症状のないうちでの，新たな病気の発見，特に早期発見，早期予防のために，健康診断は欠かさないようにしましょう。
(文責：大西)

【播磨病院内科疾患情報のバックナンバーは、播磨病院ホームページ

<http://www.harima-hp.jp/main.htm>からご覧いただけます】